

## はじめに

このたび2014年度の情報化調査の結果をとりまとめました「LS研ICT白書」を刊行いたしましたので、ご報告申し上げます。

本調査は、LS研発足時より毎年実施しており、今年で36回目を迎えます。今回は、155会員から回答をいただきました。ご協力に改めて御礼申し上げます。

本調査では「会員企業におけるICT活用に関する調査」を目的に、従来調査項目の定点観測項目、および、トピックスとして、3年目となるスマートデバイスのエンタープライズ導入・活用管理の状況、そして、本年度はICT関連資産のライフサイクルマネジメントに関する設問を設定し、現在並びに将来に向けての会員企業のICT活用動向を調査しております。

事業継続・災害対策、セキュリティなど、リスクマネジメントに関わる課題を重視する傾向は本年度も継続していますが、それとは別に、情報システム部門の戦略企画機能強化、会員によってはシステム企画でさえ外部化し、戦略に特化しようとする傾向が加速しています。そして、新技術・ICT動向に対する知識を以て事業戦略に寄与していこうという動きも垣間見られる状況です。

一方、スマートデバイスのエンタープライズ導入は9割を越え、今年度でほぼ行き渡った感があります。実際に現場で活用することで、具体的な課題が洗い出され、その対応に迫られている状況ではないかと推測されます。BYODについては、推進するという立場と禁止するという立場にはっきり分かれつつあり、特に情報漏洩への懸念から方針として私用端末にデータを置かせない、それができないならば禁止するというところに収斂しつつあるようです。

ライフサイクルマネジメントについては、ほとんどの会員でなんらかの取り組みは実施しているものの、その目的は資産管理であり、表計算ソフトを用いた簡易な管理、情報更新はヒアリングによるといった具合に、自動化が立ち後れている様子が窺えます。

本白書では、このような企業情報システムが今後取りまなくてはならない事柄に焦点をあて、会員企業へのアンケートという形で可視化し、その傾向をいち早く掴み取りたいと考えております。会員の皆様方におかれましては、今後の情報システム部門のあり方を考えるための一助としていただければ幸いです。

なお、本白書は会員内部でのICT活用に関する情報提供を目的として、会員皆様に限定して配付いたしております。

LS研では2014年度は「Challenging Innovation」をスローガンに掲げ、最先端ICTの利活用による経営革新へ貢献するための活動を展開しております。そして会員企業の成長や個人の成長を目指します。今後とも、皆様のご協力を得て情報化の発展に役立つ情報を提供すべく努力してまいりますので、内容に関する忌憚のないご意見・ご感想をお寄せいただきたく存じます。

最後に、会員各位の益々のご発展をお祈り申し上げます。

2014年10月

FUJITSUファミリー会LS研究委員会 幹事長 黒野 尚  
パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社 常務取締役